

# 「子どもの貧困問題を知る」 貧困が引き継がれないために

「子どもの貧困」が深刻な社会問題となっています。ユニセフが今年5月にまとめた報告書<sup>(※1)</sup>によれば、日本の「子どもの相対的貧困率<sup>(※2)</sup>」は14.9%であり、経済協力開発機構(OECD)に加盟する先進35カ国のうち9番目で、かなり高い水準です。子どもの貧困は、大人になっても引き継がれやすく「貧困の連鎖、再生産」ともいわれます。日本ではこうした貧困の連鎖を防ぐための法律「子どもの貧困対策法」が今年6月に成立し、年内に施行される見通しです。今回は、子どもの貧困をどうとらえればいいのか。関西大学教授の山縣文治さん(専門は児童福祉)にお話を聞きながら2つの実践から考えます。

※1 「先進国の子どもたちの貧困」～ユニセフ報告書「Report Card 10」より～  
[http://www.unicef.or.jp/kodomo/teacher/pdf/fo/fo\\_52.pdf](http://www.unicef.or.jp/kodomo/teacher/pdf/fo/fo_52.pdf)

※2 相対的貧困率・・・世帯所得をもとに国民一人ひとりの所得を計算し、全体の平均所得の半分に満たない人の割合

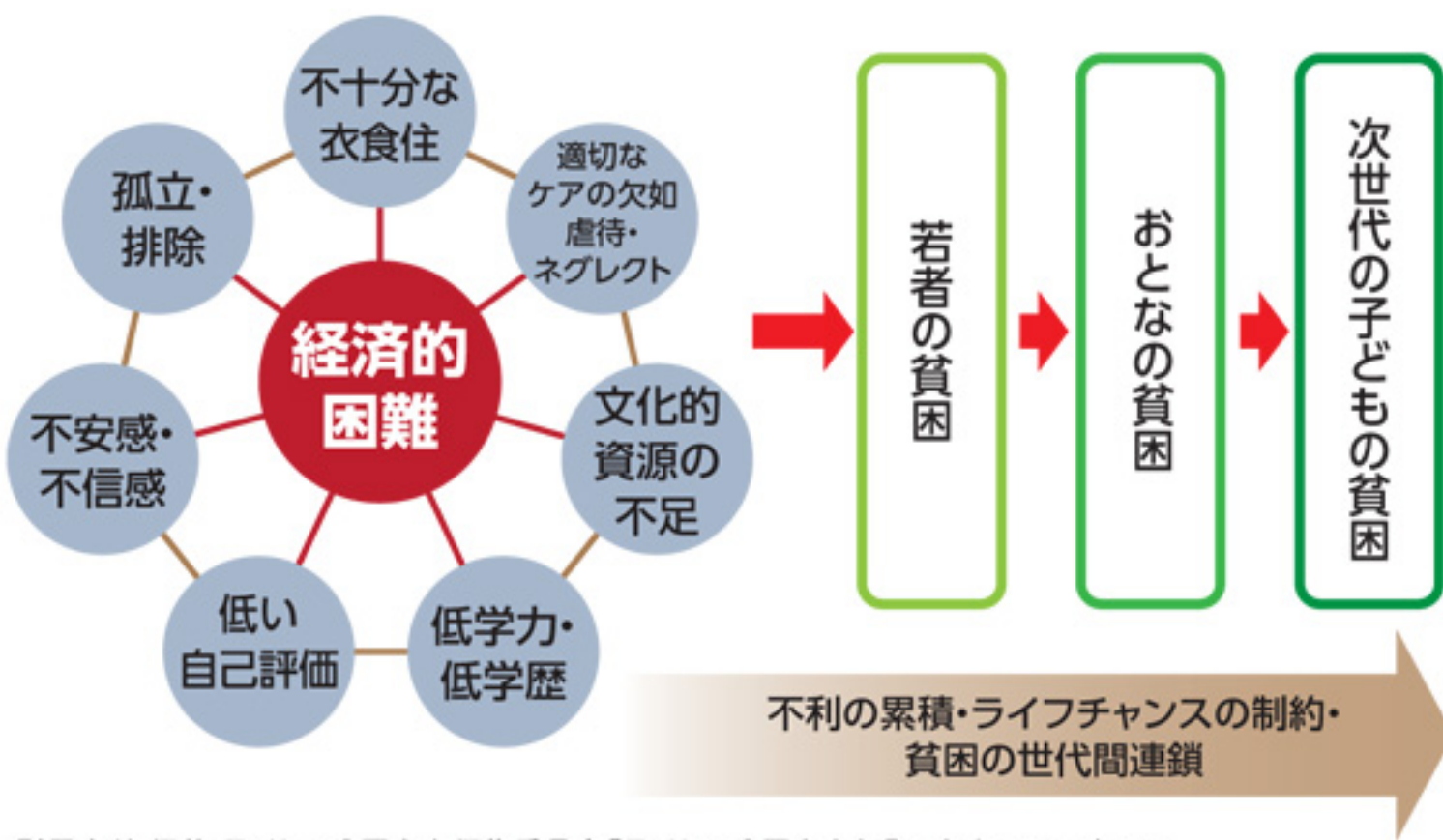
## ●「子どもの貧困」を どうみる?

相対的貧困と絶対的貧困

### 経済的な 貧困だけではない

「貧困」といえば、単に「お金がない状態」をイメージしがちです。しかし、子どもの貧困は「経済的な問題」を核としながらも、そこから起因する不利益全体をとらえます。貧困に陥れば、衣食住が不安定になるだけでなく、十分な医療や教育が受けられない、遊びや余暇活動に参加できない、就学や就職の機会が制

図1 ●子どもの貧困 関係イメージ図



約され、結果として安定した人生設計が立てられなくなるなど、子どもの人生全般において、成長と発達の基盤を奪っていくことだと認識する必要があります(図1)。

### 幼い頃から積み重なる 子どもの貧困

乳幼児期は、親や身近な人との関わりを通して、他者との信頼関係や自尊心を形づくる時期です。そんな時期に、保育所に入れず、病気をしても医療機関にかかれず、親の社会的孤立や心の不安のなかで育つ子どもは、自尊心が育ちにくく、人との信頼関係を結ぶこ

とが難しくなります。

学童期は、友だちや先生との共同活動を通して、他者との関係を学び、知識や技能が形成される時期です。しかし、貧困ゆえに、修学旅行やクラブ活動、塾等の参加ができず、貴重な体験や仲間づくりの機会を失うことにもなり、その結果、子どもの経験値は乏しく、また、学内で孤立してしまう恐れがあります。

「なぜ、こんなことがわからないの」「どうして、こんなことするの」と周囲の大人たちを驚かせる子どもと出会うことがあります。その時、私たちは単に、その子の能力や性格によるものと判断しがちです。しかし、その背景には、幼い頃から積み重なった貧困問題がひそんでいる可能性があるといえるでしょう。

### 「自己責任」ではなく 「私たちの問題」

貧困家庭が抱える問題には、ひとり親(母子・父子)、夫婦間のDV(ドメスティック・バイオレンス)、親の就労の不安定さなど、あるいは、これらの複数の事情が絡み合った原因があります。しかし、世間一般では、子どもの貧困がその家庭の「自己責任(親の責任)」にされています。本来、社会全体で保証すべき子どもの成長や発達を「親の責任」として押しつけているのです。

引用文献:編著・子どもの貧困白書編集委員会「子どもの貧困白書」明石書店、2009年p11  
(小西祐馬・長崎大学准教授作成)



貧困家庭に育った子どもが次世代に貧困状態を引き継いでしまうことを「貧困の連鎖」ともいいますが、「連鎖」という言葉には注意が必要です。「貧しい家の子どもは貧しいまま」という誤解が生まれ、ともすれば、親に対しての偏見を助長し、苦しみの渦中にある家族をいっそう追い込むことになるかもしれないからです。貧困や格差を生み出す社会の仕組みや制度の問題を切り離して考えることはできません。

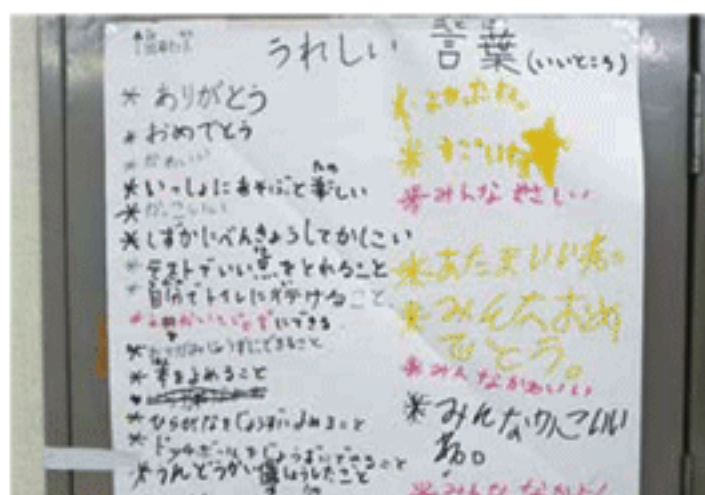
子どもの貧困は「自己責任」ではなく、社会を構成するあらゆる立場の人々が共有すべき「公共的な問題」として、とらえ直すことが重要です。

## 母子生活支援施設 「北さくら園」の場合

### 余裕のない母親、 沈黙する子ども

社会福祉法人みおつくし福祉会が運営する母子生活支援施設「北さくら園」では、母子の自立を目指して生活面、就労面、心理面など多方面にわたりサポートしています。北さくら園の場合、入所者の約60%がDVの問題を抱え、35%が経済的な理由で家賃等が払えないなどの諸事情の理由で入所しています。最近のDVは「身体的な暴力よりも『オマエなんか役に立たへん』といった言葉の暴力や生活費を渡さないなど経済的な暴力も増えています」と主任の谷本典子さんは話します。

母子の様子には、心のふれあいの乏しさが感じられることも。「親が働きに出ていて不在の子どもが学校を休んだ日、ご飯が用意されていなかったことがわかったので、急遽、職員がインスタントのご飯を温めたものにふりかけをかけ、湯を注ぐだけの味噌汁を出したことがありました。すると『こんな美味しいモノ食べたことない』と驚くほど喜んで



みんなで出し合った「友達同士、言ってもらおうと嬉しい言葉」の張り紙

…。温かい料理をつくってもらっていないのだと思います。また、高価なゲームソフトなどを持っている子どもいますが、お母さん自身が子どもとのコミュニケーションが苦手で、その分、物を買って与えることでカバーしているのでは」と谷本さんは分析します。

これに対して、子どもは、親に絶えず気を遣っています。「子どもが『おなか空いた』と言うので『朝ご飯食べてないの?』と聞くと『お母さんはしんどいから…』と母親が職員から批判されないようにかばうのです」

子育てに手間をかける余裕のない母親、それを「しかたがない」と黙ってしまう子どもの姿が見えてきます。

### ふれあいの中で、 心情を吐露する

「園では、子どもの学習支援に力を入れています。宿題をみんなでやり、集中して勉強する習慣を身につけるため、教えてもらいたい箇所があれば挙手で知らせ、必ず来てもらえるという安心のルールを決め、外部の人の助けを借りて1対1の個別指導の機会も設けています。勉強を通して、他者とも濃密な関わりをつくるのが目的でもあり、子どものいろんな状況をキャッチする場としても役立っています。目標を設定し、そこへ向かって努力すれば解答できるという、日々の達成感を味わい、次につなげる意欲と力にしてもらえれば」と、職員は願っています。

遊びは、シンプルでふれあいの多い

ものが用意されています。

「新聞紙を細く巻いてチャンバラごっこをしたり、おやつを一緒につくったり、身体を使ってみんなで遊ぶことで子どもの表情は明るくなります」と谷本さん。そのうち、親や職員に自分の気持ちを正直に話せる子が出てきます。なかには、無理な頼みごとをする母親に対し、言い返せるようになった子もいます。「お母さんもしんどいけど、僕もしんどいわ」と子どもからSOSを出せるようになることが自立の第一歩なのです。

このほか母親へは、自治体と連携して子育て支援を行うとともに、職業訓練校の紹介やキャリアカウンセリングなどで就労支援をしています。

「職を探す以前に、生活リズムの調整や面接時のマナーなど常識的な指導が必要な方もいらっしゃいます。就職後も、子どもが熱を出した時に『休みがほしいけどどう伝えたらいいか』に悩む人もいます。また、人とつながることを避けるお母さんもいます。お母さん自身が、人に助けを求め冷たくされた経験をお持ちなのではないでしょうか。一人ひとり根気よくサポートしていく必要があります」と日々の支援に職員は奔走しています。

### いつでも立ち寄れる 居場所づくりを

子どもは年齢を重ねるとともに、小学校や中学校、高校や勤め先に通うなど変わっていきますが、その子どもの人生は一本の長い道。将来にわたって、生きる意欲を維持できるように、関係機関と連携し、情報を共有するなど、継続して支援することが求められます。

同時に、大人になっても顔を出せる居場所が必要です。園では退所した母子を対象としたイベントを年2回開催しています。

「退所したり、学校を卒業したあとも訪ねてくる子どもいます。『いろんな世界がある』『助けてくれる人がいる』『自分





退所児童も楽しみにしている「こどもまつり」。お菓子釣りを楽しんでいる子どもたち

『も人の役に立てる』子どもたちがそんな実感を得られる場所が地域にたくさんあればいいですね」と谷本さんは話してくれました。

## 大阪府立西成高等学校の場合

### 就職や進学、将来のロールモデルがない

格差に挑み、生徒の希望と誇りを育むチカラのある学校を目指す西成高校。貧困状態に置かれているかどうかは、子どもの基礎学力にも現れてくるそうです。

「かけ算の九九やカタカナが不安定な子もいます。これらを学習した時期に習ったことを定着できる環境がなかったことが考えられます」と話すのは教諭の肥下彰男さん。学内のアンケート結果によれば、生徒の半数は自分の学習機がなく、きょうだいと共有したり、ちゃぶ台を机代わりにしていた状況がみえてき

ました。これに親同士のもめごとやDVが行われていれば、落ちついて勉強することは困難です。そうした環境の中で、保護者との愛着を深めることができなかつた子は、ルールを守り、自分の感情をコントロールする力が欠けてきます。

「仕事をして、家庭を築き、余暇を楽しむといった一般的な大人のモデルが身近にないため、将来を“こんなもの”とあきらめて高校を中退する傾向があります」

西成高校では、中退者の7割が母子家庭であり、親もまた生きづらさを抱えているケースが多いといえます。

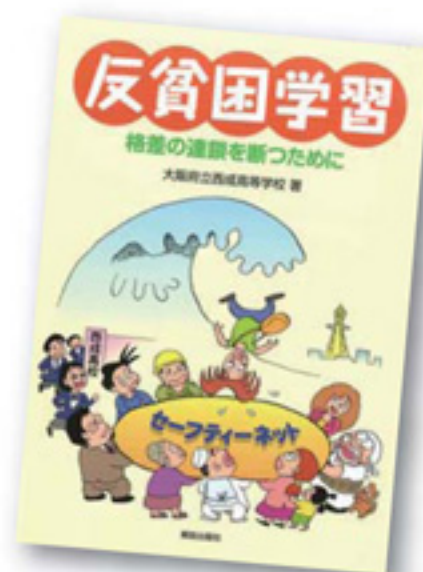
### 反貧困学習で自分の人生設計する力を育成

「子どもたちは能力がないわけではありません。授業中のひらめきや気づき、潜在能力は十分に持っています。彼らの持っている力を引き出し、理解を定着していけるようにするのが我々教師の役目です」と話す肥下さん。

そのために、学力向上だけでなく、格差の連鎖を断つことのできる力を身につけさせたいとしています。その力とは4つ。「描く＝自らの人生に希望をもち、将来設計する力の育成」「伸ばす＝基礎基本の徹底と潜在能力の伸長」「守る＝ルールやマナーを守り自分の感情をコントロールする力の育成」「つながる＝人とつながる協同の営みをとおした他者への関心、愛着、信頼感の醸成」。

生徒の実態に向き合いつくられた教

材『反貧困学習』は、ワーキングプア、日雇い派遣、労働者の権利、貧困ビジネスなどのテーマを通して、自分たちのおかれている状況を理解すると同時に、社会構造や社会制度を学び、アルバイトや就職先でも役に立つ実践的な内容となっています。学習の成果か、心理的虐待を受ける同級生に「児童相談所に通告したほうがいいよ」と助言する生徒も出てきたそうです。



反貧困学習～格差の連鎖を断つために (大阪府立西成高等学校 著)

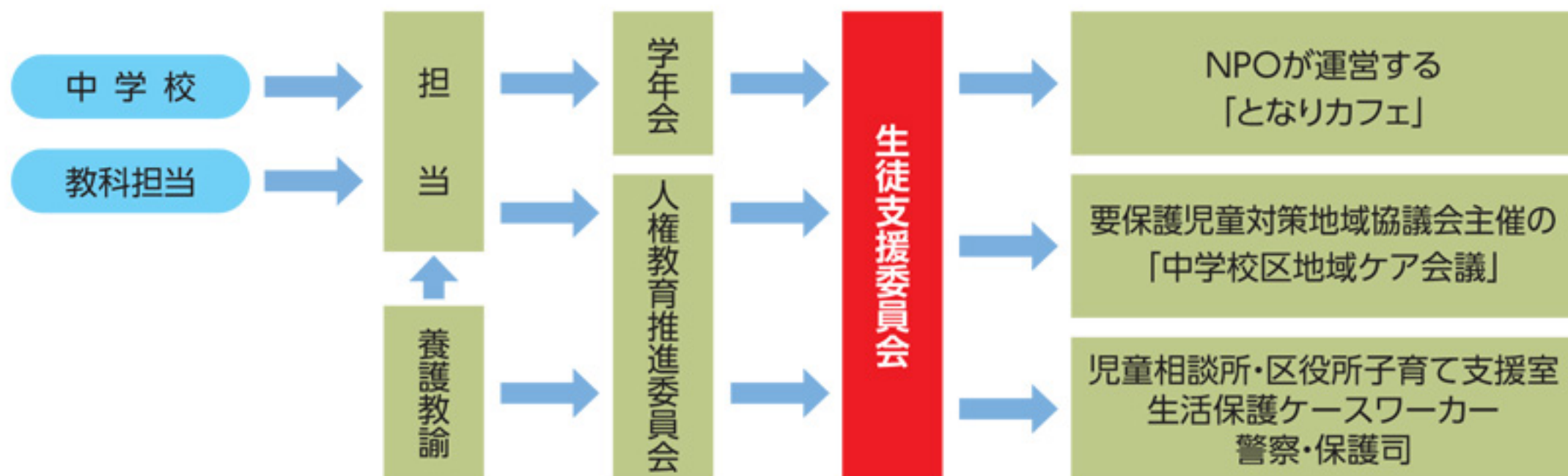
### 学内・地域のネットワークで早期発見・対処する

高校生になれば、アルバイトでお金を稼ぐこともできます。そのお金で友達の家を転々とする生徒もいます。

「虐待の経験などがある生徒が家出をすると、そのまま連絡がとれなくなる危険性があります。前もって情報をつかみ、先回りして生徒を守らなければなりません」

西成高校では、生きづらさを抱えた生徒の情報収集に力を注ぎ、週1回の

図2●生徒支援委員会における情報の集約







NPO法人が運営する相談室「となりカフェ」が学内の一室に開設。学外のスタッフに生徒は素直な思いを打ち明ける

「生徒支援委員会」の会議で情報を集約し、西成区中学校区地域ケア会議等の関係機関とも連携をしています(図2)。この地域ケア会議には、行政から保・幼・小・中学校、地域団体まで、さまざまな団体からの情報が集約されています。

「官・民の組織・グループが協働し、地域全体で子育てを支援しています。子どもたちの様子が多面的にわかりますし、行政が加わることで、もし虐待ケースを発見した場合、法律に基づいた介入もできます」

## 西成発・自助グループが「社会を変える」?!

「同じ立場の子ども同士が支え合あいながら、関係機関とともに課題解決をめざす。そうした社会性を持った自助グループが必要」と肥下さんは指摘します。グループの到達点はどこにあるのでしょうか。

「西成は、貧困問題を抱える地域ゆえに、人とつながり、差別や格差社会と闘ってきた歴史があります。その財産をいかして、西成高校の生徒は、進学校にはない、大変重要なことを学んでいます。社会に順応するのもいいけれど、学びや経験をいかして、世の中を変えてくれることに期待しています」

## ●福祉職の立ち位置は?

### ■当事者からもっとも遠い存在

多くの福祉職や福祉活動を行う人たちは、当事者と接する機会が多いため、

本人を直接的に支援する場合も、当事者(元当事者を含む)同士のセルフヘルプグループを支援する場合も、「当事者の気持ちや支援方法は、私(たち)が一番わかっている」と思いがちです。しかし、関西大学人間健康学部教授の山縣文治さんは「専門職は、さまざまな支援者のなかで当事者から最も遠い存在」であると位置づけ、その気づきが大切といいます(図3)。

### ■今をゼロと考え、そこからプラスしていく

支援について考える時、知っておきたいのが「子どもの貧困」研究における2つの考え方です。

「ひとつは、貧困の原因追究を重要視して、子どもたちのマイナス部分を“ゼロ”に戻そうとする考え方。もう一つは、今の状態を“ゼロ”と考え、そこから何を“プラス”できるか考える考え方です。」

例えば、「身の回りの片付けができない」状況に対して、前者の考え方は「片

付けられない子に育った原因」を分析し、物が散乱する今の状態を“マイナス”と捉え、子どもに「毎日、整理・整頓をする」という「到達地点」(=ゼロの状態)に向けて努力することを求めます。一方、後者の考えは散乱している「現状」を“ゼロ”の状態とし、「月に1回は整理整頓するようになった」などの進歩を「プラス」とみなします。

「世間一般は『あの人は…だから、ダメなんだ』といたがります。原因追究型です。福祉の支援者は、後者の考え方のように、未来をみつめ、ともにプラスをつくっていく考え方が望ましいと考えます」と山縣さんはいいます。

### ■お金でない支援、どんなかたちがあるか考える

福祉職には、実際に何ができるのでしょうか。

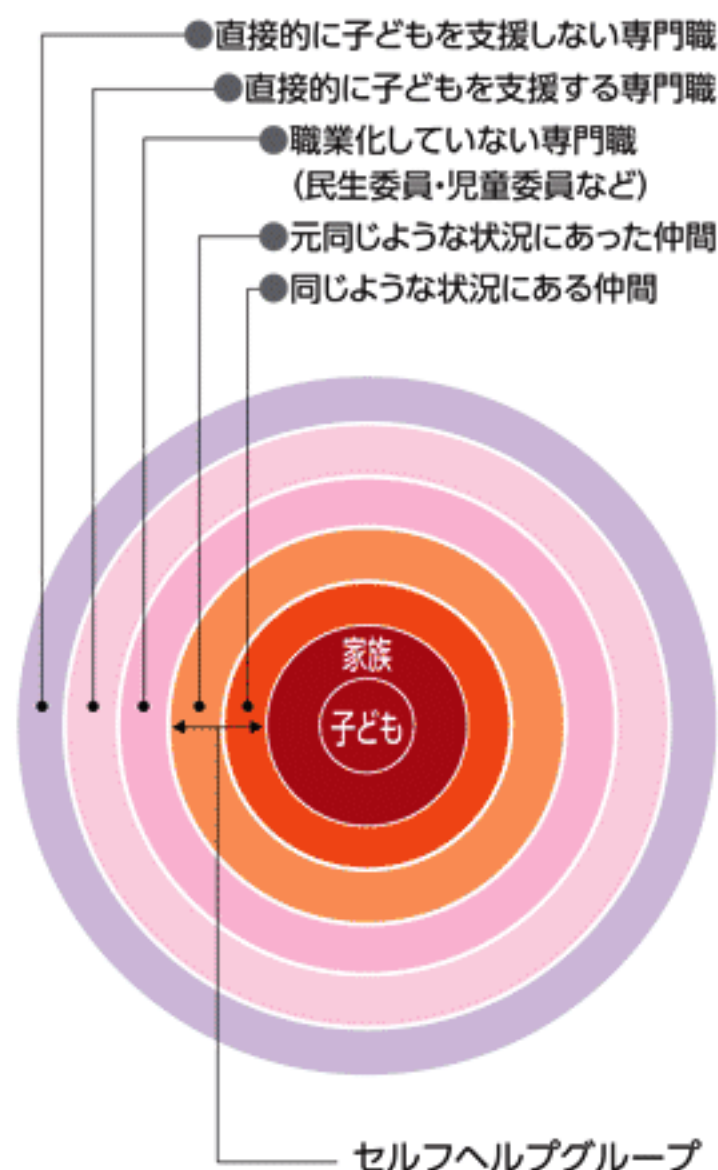
「ソーシャルワーカーはどんなにがんばっても、貧困家庭の収入を直接的に増やすことはできません。つまり、福祉職としては、収入が増加するための方策を考えたり、お金以外でどんなことに取り組みするかを考える必要があります。子どもは、貧困状態にあっても周囲のサポートがあり、信頼感や自己肯定感が持てる環境を用意すれば、いろんな機会ができ、その経験を通し成長していくことがわかりました」

いずれにしても、子どものありのままの様子を出発点として、ゼロの現状から「何をすれば“今より”気持ちよく生活することができるのか」を当事者と親と支援者が一緒に考えていくことが大切です。

参考文献:

- 編著・子どもの貧困白書編集委員会『子どもの貧困白書』明石書店、2009年
- 大阪府立西成高等学校著『反貧困学習～格差の連鎖を断つために』解放出版社、2009年

図3●当事者と支援者の関係図



「外側にいくほど当事者から遠い存在になる。子ども支援の領域ではセルフヘルプグループの層がとても薄い」と山縣さん



# 講座案内

## 大阪市内在住・在勤・在学者

### ① 社会福祉史の市民講座 “自彊やまず～自ら努力して怠らない～”大阪自彊館100年の礎

明治45年(1912年)6月25日、大阪自彊館は「あいりん(釜ヶ崎)」の環境改善と労働者の宿泊提供を目的に創設されました。本講座では、明治・大正・昭和・平成の四代を経た大阪自彊館100年の軌跡と、そこで奮闘した職員に焦点を当てながら、実践の歴史を学びます。

- 日時…平成25年8月31日(土) 午後2時～4時
- 講師…松崎信司(社会福祉法人大阪自彊館 事業推進室部長)
- 定員…50人(先着順)
- 会場…大阪市社会福祉研修・情報センター
- 受講料…無料
- 申込方法…下記の「申込記載事項」を記入のうえ、ファックス・ホームページからお申し込みください
- その他…当日直接会場にお越しください。定員超過でご参加できない場合のみ、ご連絡いたします

## 大阪市内在住・在勤・在学者

### ② 地域福祉推進リーダー養成塾～学びの場は地域のなか～

本養成塾では、福祉コミュニティづくりにおけるネットワークの構築やその運営を担う人材を「地域福祉推進リーダー」と称して、地域福祉の推進におけるネットワークの意義を、実際に支援活動している現場に行き、実践者から直接お話を聞いたり、現場を体験しながら学ぶ「フィールドワーク」を通して学びます。

- 日時…平成25年8月31日、11月16日、平成26年1月25日の各土曜日(10:00～13:00)と、9～10月と11～1月に行う2回のフィールドワーク(全5回)
- 講師…藤原慶二(関西福祉大学講師)等
- 定員…30人(先着順)
- 会場…大阪市社会福祉研修・情報センター4階会議室1及びフィールドワーク先(大阪市内)
- 受講料…1,500円
- 締切日…平成25年8月10日(土)
- 修了証…4回以上(但しフィールドワーク2回必須)出席者に発行
- 申込方法…当センターホームページ(<http://www.wel-osaka.jp/>)の申込フォームに入力するか、申込用紙をダウンロードしてファックスでお申し込みください
- その他…フィールドワーク先の活動内容、場所、日程等は、受講申込後に一覧資料をお送りします。

## ◆上記講座の申込・問合せ先

- ①②③ 大阪市社会福祉研修・情報センター 〒557-0024 西成区出城2-5-20 ☎06-4392-8201 ☎06-4392-8272 ☎<http://www.wel-osaka.jp>
- ④⑤ 大阪市こころの健康センター 〒534-0027 大阪市都島区中野町5丁目15番21号 都島センタービル3F ☎06-6922-8520 ☎06-6922-8526
- ⑥ 大阪市障がい者基幹相談支援センター(担当:赤尾・萬井) ☎☎06-6622-1680 (TEL受付は9:00～17:30)

## 申込記載事項

【必須項目】①研修(講演会)名、②名前(ふりがな)、③年齢、④連絡先住所(〒)、⑤電話、ファックス番号、⑥勤務先(所属)  
※必須項目以外にも、必要な項目がある場合がありますので、忘れず記載ください

## 大阪市内在住・在勤・在学者

### ③ 地域福祉活動者講座

私たちと同じ地域で暮らしている人たちに、暮らしの困り事や不安を少しでも解消・解決してもらい、安心して暮らしてほしい…。そのような思いで、地域福祉活動に関わっている(これから関わろうとしている)人を対象に、これからの地域福祉活動を考える研修を開催します。

- 日程・内容
- ①9月28日(土) [権利擁護と市民後見人活動]
- ②10月5日(土) [地域福祉がめざすこと]
- ③10月26日(土) [児童の虐待問題と支援のあり方]
- ④11月2日(土) [地域福祉活動と個人情報保護のポイント]
- ⑤11月9日(土) [認知症の理解と支援のあり方]
- ⑥11月30日(土) [障がい者の地域自立生活の現状と課題～相談内容から考える～]
- ⑦12月7日(土) [地域福祉活動を進める6つの視点と3つの要素]

- 講師
- ①藤原一男(大阪市成年後見支援センター所長)、市民後見人(予定)
- ②金田喜弘(佛教大学 福祉教育開発センター講師)
- ③村江 昇(福祉型障害児入所施設平和寮施設長)
- ④井上雅人(大阪弁護士会・弁護士)
- ⑤沖田裕子(認知症の人とみんなのサポートセンター代表)
- ⑥宮前克彦(阿倍野区障がい者相談支援センター相談支援専門員)
- ⑦巽俊朗・田淵章大(大阪市社協福祉部地域福祉課)
- 定員…60人(先着順)
- 会場…大阪市社会福祉研修・情報センター
- 資料代…1,500円
- 締切日…平成25年9月5日(木)
- 修了証…5回以上出席者に修了証を発行します
- 申込方法…当センターホームページ(<http://www.wel-osaka.jp/>)の申込フォームに入力するか、申込用紙をダウンロードしてファックスでお申し込みください

## 大阪市内在住・在勤者

### ④ ひきこもり市民講座(全2回)

ひきこもり市民講座を開催します(全2回)。1回目は、精神科医がひきこもりについて講義を行います。2回目は、支援者と当事者が

ひきこもりからの回復について語ります。

- 日時…
- ①平成25年10月1日(火) 午後2時から4時
- ②平成25年10月15日(火) 午後2時から4時
- 定員…100人(先着順)
- 会場…大阪市こころの健康センター 大会議室
- 受講料…無料
- 締切日…①平成25年9月30日(月) ②平成25年10月11日(金)
- 申込方法…電話(06-6922-8520)、ファックス(06-6922-8526)、Eメール [kokoro@city.osaka.lg.jp](mailto:kokoro@city.osaka.lg.jp)のいずれかで、講座名、名前、連絡先(電話番号)の記入のうえお申し込みください

## 大阪市内在住・在勤者

### ⑤ こころの健康講座 「統合失調症ってどんな病気？」

統合失調症は、一般的には、幻覚や妄想などの症状を呈することで知られている病気です。本講座では、統合失調症について、精神科医がわかりやすく説明します。

- 日時…平成25年9月4日(水) 午後2時～4時
- 定員…100人(先着順)
- 会場…大阪市こころの健康センター 大会議室
- 受講料…無料
- 締切日…平成25年9月3日(火) 必着
- 申込方法…電話、ファックス、Eメール [kokoro@city.osaka.lg.jp](mailto:kokoro@city.osaka.lg.jp)のいずれかで、講座名、名前、連絡先(電話番号)の記入のうえお申し込みください

## 大阪市内在住・在勤者

### ⑥ 講演会 ストップ!障がい者虐待～誰もが暮らしやすい社会をめざして～

平成24年10月に「障害者虐待防止法」が施行されました。この法律ができるまでの背景や、虐待を防止するために、どのような取り組みや支援が必要になるのかをともに考えます。

- 日時…平成25年9月28日(土) 午後1時30分～4時
- 講師…辻川圭乃(弁護士・辻川法律事務所)
- 定員…300人(先着順)
- 会場…天王寺区民センター(天王寺区生玉寺町7-57)
- 受講料…無料
- 締切日…平成25年9月20日(金) 午後5時まで
- 申込方法…名前(ふりがな)、電話番号、FAX番号を明記し、点字資料・拡大文字資料・手話通訳・要約筆記が必要な場合や、車いすでの参加や介助者が付き添う場合は、その旨を記載のうえ、電話かファックスにて申し込みください



# “キャリアパス”という言葉をご存じでしょうか？

「仕事の経験(Carrer)を通じて、昇進・昇格へと進む経路、自分自身を高めていく道筋(Path)」のことであり、介護や福祉の従事者として、自分自身の仕事の経験(キャリア)をどのように築いていくか、その道筋を示すことを“キャリアパス”といいます。

これまでの介護・福祉業界では、職員が転職した場合など、新しい職場や職制に就いたとき、これまでの経験・経歴が活かされにくい・引き継がれにくい、また、そのシステムが業界全体として構築されていないことが、結果として、介護・福祉従事者の定着や育成がうまく行われていない要因になっているという分析・評価に対して、考えられたものといえます。

## キャリアパスの位置づけ

本誌では4回に分けて、キャリアパスの考え方、生涯研修体系やキャリアパス研修課程等について連載していきます。

図1 ● キャリア形成の考え方



キャリアパスは、キャリアデザインと共に、ワークキャリアの中に位置します。そしてワークキャリアはライフキャリアの中に位置します(図1)。

ライフキャリアはまさしく、人生すべての経験を示しています。仕事以外のプライベートな経験等も含み、人生全体において、自分自身を経験・経歴を意味します。

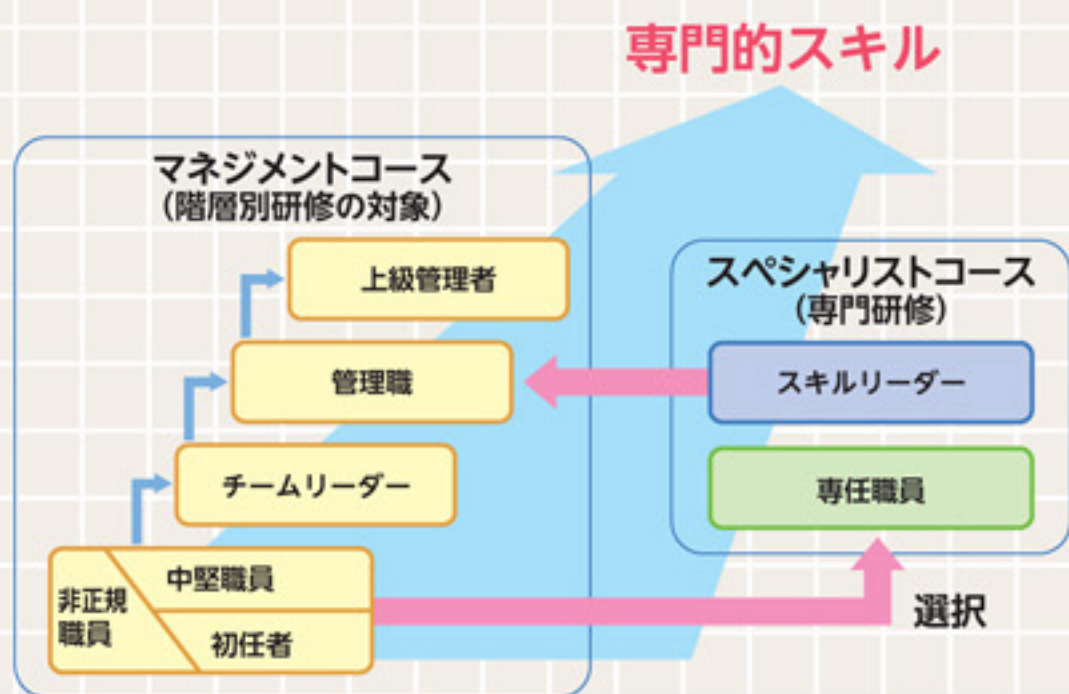
ワークキャリアは、人生全体の中で大きな割合を占める仕事上の経験について捉える概念です。

## キャリアパスのイメージ

仕事の経験を通じて、自分自身を高めていくには、大きく2つの経路を想定しています。一つは、専門技術等を深めていく経路(=スペシャルコース)があり、もう一つは職制や職階に必要な知識や技術等を深めていく経路(マネジメントコース)があり、例えば「新任職員」「中堅職員」「主任・リーダー職員」「管理職(例:課長・部長)」「上級管理職(例:施設長、理事長)」の各職階に求められるものを修得するものです。

キャリアパスは、その職種や職制で求められる知識や技術等を習得しながら進んでいく、ちょうど階段を上っていくようなイメージです。(図2)

図2 ● 組織におけるキャリアパスのイメージ



自分自身がスペシャリストコースを重視するか、マネジメントコースを重視するかは、本人の選択になりますが、スペシャリストコースからマネジメントコースへ移行したり、その逆もできることとされ、これからはその両方を深め・高めていくことが必要といわれています。

どのような理念・知識・技術の習得が必要かは、ぜひ、大阪市福祉人材養成連絡協議会が作成した「福祉関係従事者生涯研修体系図～階層ごとに学ぶ教育要素～」を参考ください。

<http://www.welful.net/>

次号では、ワークキャリアの構築に欠かせないキャリアパスとキャリアデザインについて掲載します。

※福祉職員キャリアパス研修課程指導者養成研修課程(全国社会福祉協議会・中央福祉学院)研修資料を参考に作成



# 福祉の歴史散歩

大阪の福祉の源流をたどる



## なにわの福祉を支えた実業家たち(利益を社会に)② —新田長次郎・久保田権四郎と夜学校—

本稿は三話完結の第二話です。

新田帯革製作所(ニッタ)の創業者で、工場用ベルトなどを開発した新田長次郎(1857~1936)と、久保田鉄工所(クボタ)の創業者で鑄鉄管製造のパイオニアといわれる久保田権四郎(1870~1959)は、明治末期に、貧しい児童のための夜学校を創りました。

新田長次郎は、安政4年、伊予国山西村(愛媛県松山市)で、貧しい家庭の次男として生まれました。幼くして父を亡くしたため、母と野菜の行商をする暮らして、正式な教育は全く受けられず、独学で文字を覚えました。

20歳のとき、母に書置きを残して、無一文で出奔。大阪の米屋に丁稚奉公として住み込みましたが、“銭が貰える”と聞き、「藤田組製革所」の見習工になりました。

たまたま工場を訪れたドイツ人技師の「製革は有望な産業」という言葉を聞いて、進むべき道を知り、発奮して、寸暇を惜しんで励み、製革の基本技術を修得しました。

明治17(1884)年、独立し、南区(浪速区)久保吉町に小さな工場をもちました。

当時盛んだった紡績工場では使用されている工業用帯革は、舶来品ながら、全部革縫いのため切れやすく、おまけに、切れると取り寄せるのに時間がかかる状態でした。

それに目をつけた新田は、ベルトの接合糊を研究し、新製品を開発。これが図にあたり、“安くて丈夫、切れてもすぐに間に合うベルト”との評価を得て、注文が殺到しました。

さらに、欧米の優秀な機械を導入して、生産能率と品質を目覚しく向上させるとともに新製品を次々に開発、さらに、酪農等にも手

を広げ、海外にも進出して、明治後期には、「立志伝中の人」となっていました。

一方、久保田権四郎は、明治3年10月、備後国御調郡大浜村(広島県因島市)の貧しい桶屋で、末っ子(三男)として、この世に生を受けています。

15歳のとき、石炭運搬船で雑役夫をやり、大阪で降ろしてもらいました。見つけた仕事は鑄物工場での徒弟奉公です。子守をしながら、兄弟子たちの仕事振りを覗き見たり、槌の音で仕事の呼吸を覚えようとする熱心さと誠実さを見込まれ、鑄物の手ほどきを受けるようになると、天性の器用さで、たちまち腕前を上げ、一人前の職人になりました。

明治23(1890)年に独立し、南区御蔵跡町(浪速区日本橋)の棟割長屋を借用して「大出鑄物」を開業(のち、広田町に移転)。近所の久保田藤四郎(久保田燐寸機械製造所)の養子となり、明治30(1897)年6月、「久保田鉄工所」と改称しました。

久保田の方は、需要の高まりつつある水道・ガス用鑄鉄管に注目し、“錆びない、継ぎ目の弱くない”製品を研究・開発。これが見事にヒットし、事業は急速に伸び、次いで、大口径鑄鉄管の製造にも成功。さらにガスパの製造や小型発動機(農・工業用)をも開発。会社を“ペン先からマンモスタンカーまで”製造する企業へと展開させました。

明治44(1911)年のある日、新田長次郎、次いで久保田権四郎のもとに、難波警察署長(天野時三郎)が訪れ、管内の貧しい地域の子どもたちのために学校を設立するよう懇望しました。新田も、久保田も、貧しい家庭の出だけに、これに快く応じました。

かくて、新田は、明治44(1911)年6月15日、南区木津北島町(浪速区栄町)の民家(長屋建3戸)を借り上げ、夜学校を開設しました。正式校名は「私立有隣尋常小学校」。

同様に、久保田も、同年7月5日、「私立徳風尋常小学校」を開校しました。こちらは工場の一部を校舎に転用しましたが、やがて、

高倉藤平(堂島米穀取引所理事長)の寄附金を得て、広田町に新校舎を建設し移転しました。

対象児童は「所轄管内に居住せる貧民子弟」と「無籍者」で就学できない児童で、生徒数は、有隣小学校が約300人、徳風小学校が400人余りでした。

授業は夜間(多くの子がマッチ工場などで就労)。やがて、昼間部も設置されました。

校長は、有隣小学校が松村誠一(難波第六尋常小学校長)、徳風小学校が浅井清太(木津第二尋常小学校長)の兼務(中城正城が浅井の後任となった頃からは専任)でした。

教員には、当初、難波署の非番警官(中学卒以上)とその妻(高女卒以上)があてられましたが、やがて、本格的な学校教育に適格な専任教員などを配置するようになりました。

授業料は徴収せず、むしろ、学用品一切を支給、時には衣服も給与しました。さらに、地域住民の協力により、いろいろな付帯事業も実施。例えば、徳風小学校では

- ①入浴…毎週2回(はじめは地元の銭湯が解放されたが、やがて校内に浴槽設置)。
- ②理髪…地元理髪店の協力により、月1回、無料理髪。
- ③給食…鳥井信治郎(後述)より給食用米の継続提供を得て実施(夕食、のち朝食も)。
- ④診療…医師(太田富道・豊)が無料診療所を開設(親も利用)。

経営費は、どちらも年額1,800円(月額150円)。いずれも、新田と久保田が全額負担しました。臨時費(年間6~700円)は、公費(補助奨励金)や一般寄附金で賄いました。

大正11(1922)年7月、両校は大阪市に移管されましたが、その際、新田も久保田も、経営資金を添えて無償で大阪市に寄附しています(戦災により廃校)。



※この稿は、大阪市社会福祉研修・情報センターで開催された「社会福祉史の市民講座」の講演(講師:西野孝 花園大学名誉教授)から抜粋したものです。(言葉については、歴史的事実として当時の表現をそのまま使用しています)





図書紹介

『地域福祉援助をつかむ』

岩間 伸之・原田 正樹 著  
有斐閣 2012年

事例をもとに「地域を基盤としたソーシャルワーク」と「地域福祉の基盤づくり」を一体的にとらえる地域福祉援助の考え方をわかりやすく解説。「支援困難事例への専門的援助」「地域福祉の基盤づくりの視点」など、25のユニットから構成されている。



『よくわかるアサーション 自分の気持ちの伝え方』

平木 典子 監修  
主婦の友社 2013年

お互いに気持ちよく自己表現をするための考え方「アサーション」を、イラストと図解を用いて、わかりやすく説明。具体的な事例で、適切な対応法が自然に身につくように工夫されている。



『無縁介護 単身高齢社会の老い・孤立・貧困』

山口 道宏 著  
現代書館 2012年

近年の福祉に関する事件・事故には、地域での孤立があった。福祉サービスにたどりつけないことから、深刻な事態になる例は後を絶たない。多くは、無縁介護の状態にあった。老・衰・病をめぐる在宅支援の最前線レポート。



DVD紹介

『パーソン・センタード・ケアを実践する ドーン・ブルッカー講演より』

シルバーチャンネル 79分 2012年  
2012年5月に開催したパーソン・センタード・ケア特別講演会からドーン教授の講演を抜粋して紹介。パーソン・センタード・ケアの実践についてケースを交えて分かりやすく説明している。



『即戦カシリーズ 介護技術入門 その日から実践できる 移乗援助編 口腔ケア編 モーニングケア編 ナイトケア編』

レビックグローバル 49分 2011年  
実際の介護現場で撮影された映像を使い、介護施設内の1日の業務の流れを基本に、介護の初心者でも介護技術がすぐに身につけられるような工夫が紹介されている。



『わが母の記』

松竹株式会社 映像商品部 118分 2012年  
幼少期にひとりだけ両親と離れて育てられた小説家の伊上。父は亡くなり、母・八重は物忘れがひどくなってきており、夫との思い出すらほとんど失っていた。井上靖の自伝的小説を映画化。



図書・資料閲覧室からのお知らせ

ホームページから図書やDVDの検索ができます。

●「貸出図書・DVD・ビデオリスト」をクリックすると新着情報やDVD・ビデオリストを見ることができます。

URL:<http://www.wel-osaka.jp/>を入力するか、「ウェルおおさか」と検索すると大阪市社会福祉研修・情報センターのホームページが出ます。

- 「福祉の蔵書検索」をクリックすると検索画面が開きます。
- 図書・DVDのタイトル、著者名、キーワードなどを入力すると所蔵があるかどうかわかります。

大阪市社会福祉研修・情報センター2階の図書・資料閲覧室では、福祉に関する図書・DVD・ビデオなどを、無料で貸出しております。(認知症、介護技術、手話のDVDや、福祉関係の雑誌などが充実しています。)

開室時間：月曜日～土曜日 午前9時30分～午後5時

休室日：日曜日・祝日(土曜日は除く)・年末年始

☎06-4392-8233





●健康と思う今こそ、受けよう検診!

大阪市では次の検診を実施しています。

健診種別(方法)	対象者等*1	料 金	実施機関
胃がん検診 (胃部エックス線撮影)	受診日現在40歳以上の大阪市民 (年度中1回)	500円	保健福祉センター
		1,500円	検診取扱医療機関
300円		保健福祉センター	
		検診取扱医療機関	
無料 (喀痰細胞診検査 400円)		保健福祉センター	
		検診取扱医療機関	
大腸がん検診 (免疫便潜血検査)		400円	検診取扱医療機関
肺がん検診 (胸部エックス線撮影) (ハイリスク者には喀痰検査も)		400円	検診取扱医療機関
子宮頸がん検診 (子宮頸部細胞診)	受診日現在20歳以上で当該 年度の対象*2となる生まれ年 の女性市民(2年に1回)	400円	検診取扱医療機関
乳がん検診 (視触診と超音波検査)	受診日現在30歳代の女性市民 (年度中1回)	1,000円	保健福祉センター
			検診取扱医療機関
乳がん検診 (視触診とマンモグラフィ検査)	受診日現在40歳以上で当該 年度の対象*2となる生まれ年 の女性市民(2年に1回)	1,500円	保健福祉センター
			検診取扱医療機関
〈特定健診等と同時実施〉 B・C型肝炎ウイルス検査 (血液検査)	当該年度において40歳以上 の大阪市民で過去に同等の検 査を受けたことがない方	1,000円	保健福祉センター 検診取扱医療機関
骨量検査 (踵骨超音波測定法)	18歳以上の大阪市民	無料	保健福祉センター

※1 いずれの検診も、勤務先等で同程度の検診を受診できる方、検診部位の病気等で治療中・経過観察中の方、自覚症状のある方は対象外です。

※2 当該年度の対象者となる生まれ年、無料受診の該当者等については、大阪市ホームページ及び市や各区の広報誌等で確認いただくか、各区保健福祉センターへお問合せください。

【内容へのお問い合わせ】

大阪市健康局健康推進部健康づくり課(成人保健) ☎06-6208-9943

健康生活  
応援グッズ

ベッドを選んで  
安全、快適生活

介護ベッド

搬入制を考慮した  
2分割構造の介護ベッド



●プリモレット

背を下げるときは、モーターの力で直接引かない安心のフリーホイール構造。ベッド用グリップも装着できるベーシックモデルです。

背上げ回数の多い方に



●介護軽減 背上げらくベッド

ベッド本体と専用マットレスの組み合わせで、背上げの動きに連動してマットレスを引き上げます。体のずれを防ぎ、腹部への圧迫感や違和感を軽減します。

安全性を高めた最新JIS規格認証  
在宅ケアベッド



●楽匠S

ベッドに不慣れな方も安心して使える、超低床設計。「安全性向上」「負担軽減」「課題解決」、介護に必要な3つのテーマを追求した、自宅で使うことに特化した介護ベッドです。

問合せ

公益社団法人関西シルバーサービス協会 事務局

〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54

大阪社会福祉指導センター2階

☎06-6762-7895 FAX06-6762-7894

http://kansil.jp

今月の 自助具 筆記具ホルダー

資料提供 HUMAN universal design office 岡田 英志さん

主な適応疾患・対象者▶

●ふるえや、しびれ等で指先に力が入らず筆記具をしっかりと握って書くことができない方。

機能・特徴▶

●筆記具を握っている指形状をコルク粘土で整形し、指を当てるだけでしっかり握らなくても固定できる

使い方▶

●ペン等の筆記具を筒状のホルダーに差し込み、つば状の傘部を親指と人差し指の間に挟み込み使用する。



●使用法



問合せ▶大肢協ボランティアグループ・自助具の部屋

☎06-6940-4189(月・水・金 10:00~15:00)



# ♥福祉職員のメンタルヘルス相談♥

自分の心の声に正直に…

## 「しんどいな…」と思ったら、まずお電話を!

福祉の仕事に携わる職員の方々のストレスから生じる様々な問題の相談に応じています。

毎週土曜日(祝日の土曜も実施)、午前9時30分～午後4時、専用電話回線を開設し、臨床心理士による電話相談及び来所相談を行っています。

また、相談の予約については、平日(午前9時30分～午後4時30分)も受け付けています。



### ●メンタルヘルスセルフチェック

こんなことはありませんか?

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> いらいらしてだれかに当たってしまう         | <input type="checkbox"/> 自分だけが頑張っていると思う              |
| <input type="checkbox"/> なかなか疲れが取れない               | <input type="checkbox"/> だれも自分のことを理解してくれない           |
| <input type="checkbox"/> やる気がおきない                  | <input type="checkbox"/> 常に仕事のことが頭から離れない             |
| <input type="checkbox"/> 不安になったり心配になったりして気持ちが安定しない | <input type="checkbox"/> 仕事のミスが増えてきた                 |
| <input type="checkbox"/> 職場に行くのがつらい                | <input type="checkbox"/> この仕事に向いていないのではないかと思う        |
| <input type="checkbox"/> 気がつくと、職場の仲間の輪から外れている      | <input type="checkbox"/> 自分の仕事に自信が持てない               |
| <input type="checkbox"/> 職場の人間関係がうまくいかない           | <input type="checkbox"/> もっと利用者やその家族と良い関わりをしたいのにできない |
| <input type="checkbox"/> 毎日の業務が追われて、心のゆとりがない       | <input type="checkbox"/> お酒、タバコの量が増えた                |

電話または来所(まずはお電話ください)

☎06-4392-8639

大阪市社会福祉研修・情報センター

●住所: 大阪市西成区出城2-5-20

●相談員: 臨床心理士

●相談料: 初期相談無料

※秘密厳守します



メンタルヘルス相談では、ご本人からだけではなく、周囲にいる同僚や上司の方からのご相談も受け付けています。

あなたのお好みに仕上げます。

パンフレットやカタログなど、

作りたいものがカタチにならず困っていませんか?

当社が企画から納品にいたるまで、各専門スタッフが、

あなたのお好みに合わせて仕上げます。

デザイン・制作のことなら気軽にご連絡ください。

TOTAL CREATION

AD.EMON

株式会社 アド・エモン

〒530-0045 大阪市北区天神西町8-19 法研ビル5F

TEL:(06)6362-1511(代) FAX:(06)6362-1510 E-mail:info@ad-emon.com

<http://www.ad-emon.com>

(広告)

発行!

最新版

## 「大阪における社会福祉の歴史Ⅳ」

大阪の社会福祉の歴史は、物事に柔軟に対応し、自由で現実的な姿勢で取り組み、全国に先駆けたものが多くあり、次代の大阪らしい実践に多くの示唆を与えてくれます。

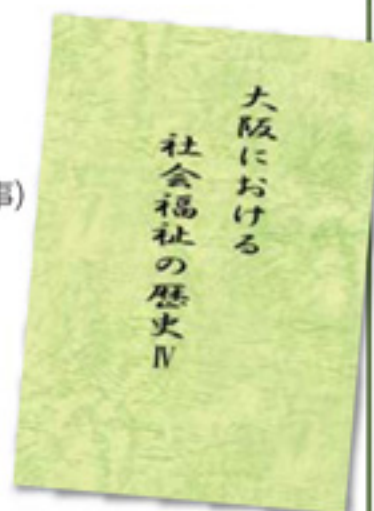
2004(平成16)年から4年間にわたって、大阪社会福祉史研究会と大阪市社会福祉研修・情報センターが共催した「社会福祉史の市民講座」の内容を冊子にして発行しています。この度、「大阪における社会福祉の歴史Ⅳ」を発行しました。ぜひ、ご一読ください。

### 大阪の戦後混乱期の社会福祉事業

- 浮浪者(児)の心に響け、愛の鐘—梅田厚生館と五十嵐兼次—  
西野 孝(花園大学名誉教授)
- 大阪福祉事業財団の創設と展開  
玉置 弘道(元 大阪福祉事業財団常務理事)

### 変貌する市民生活と社会福祉の発展—1960年代の大阪—

- 家庭養護促進協会のはじまりと発展  
岩崎 美枝子(社団法人家庭養護促進協会理事)
- 大阪医療社会事業協会のはじまりと発展  
大垣 芳美(元 医療ソーシャルワーカー)
- 「釜ヶ崎」の不就学児童と地域  
小柳 伸顕(釜ヶ崎キリスト教協友会)
- 障がい児保育のはじまりと発展  
松村 寛(社会福祉法人水仙福祉会理事長)
- 老人福祉法の制定と高齢者福祉の発展  
岩田 克夫(社会福祉法人聖徳会会長)
- 大阪ボランティア協会のはじまり  
早瀬 昇(社会福祉法人大阪ボランティア協会常務理事)



《販売価格 700円》

●申込方法: 大阪市社会福祉研修・情報センター1階事務室で購入できます。また、申込書(ホームページ <http://www.wel-osaka.jp> からダウンロード可)のファックス送信(06-4392-8272)でも受付ます

★この他にも、大阪市における社会福祉の歴史Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・特別号も発行しています



**CENTER INFORMATION ▶ 平成25年4月より、5階の講座室1・2、演習室2・3・4が利用できます。**

**■会議室等の使用料**

(単位:円)

室区分	利用人員のめやす	時間区分	午前	午後	夜間	昼夜間
			9:30~12:30	13:00~17:00	18:00~21:00	9:30~21:00
4階	会議室(1)	99	3,800	5,100	3,800	11,400
	会議室(1)東	45	1,900	2,600	1,900	5,800
	会議室(1)西	54	2,900	3,800	2,900	8,600
	調理実習室	50	3,800	5,100	3,800	11,400
	介護実習室	36	5,700	7,600	5,700	17,100
5階	大会議室	144	5,800	7,700	5,800	17,400
	会議室(2)	60	2,900	3,800	2,900	8,600
	講座室(1)	36	1,900	2,600	1,900	5,800
	講座室(2)	36	1,900	2,600	1,900	5,800
	演習室(1室利用)	18	1,000	1,300	1,000	3,000

**大阪市社会福祉研修・情報センターのご案内**

**開館時間** / 午前9時から午後9時まで(土・日曜日は午前9時から午後5時まで)  
 ただし、展示ギャラリー、図書・資料閲覧室は午後5時まで  
**休館日** / 国民の祝日(土・日曜日と重なる場合は除く)、年末年始(12月29日~翌1月3日)

**●それぞれの開設日・時間**

項目	直通電話番号	開設日(休館日を除く)	開設時間
会議室など利用の問い合わせ	06-4392-8200	毎日	午前9時~午後9時(土・日午後5時まで) (会議室の申込・お支払いは午前9時30分~午後5時)
研修関係の問い合わせ	06-4392-8201		午前9時~午後5時
図書・資料閲覧室	06-4392-8233	月~土曜日	午前9時30分~午後5時

**貸室ご利用の皆様へ**

大阪市社会福祉研修・情報センターでは、貸室ご利用の皆様により計画的に便利にご利用いただくため、空室状況を公開し、FAXによる申込みを受けています。

**1 空室状況をホームページに掲載しています。**

空室状況は、ホームページの「センターご案内」→「貸室利用のご案内」→「空室一覧」に、PDFで4カ月分掲載。

URL / <http://www.wel-osaka.jp/>

**2 利用申込の受付は4カ月前からです。**

利用日の4カ月前から、電話や直接窓口で予約いただいたうえ、所定の用紙で申し込みください。

受付時間は午前9時30分から午後5時まで

☎06-4392-8200

**●FAXによる申し込み手続きの手順**

FAXによる申込は、ホームページの「センターご案内」→「貸室利用のご案内」→「FAXでのお申し込み」に、申込手順を掲載しています。

☎06-4392-8206

※ファックスでの申し込み可能な期間は、利用日の4カ月前の午前9時30分から利用日の3日前までです。



**交通 / ご来所には【市バス】【地下鉄】【JR】をご利用ください**

**●市バス**

**「長橋二丁目」バス停すぐ**  
 7系統(あべの橋~住吉川西)・52系統(なんば~あべの橋)

**●市営地下鉄・四つ橋線**

**「花園町」駅(①・②出口)から徒歩約15分**  
**「大国町」駅(⑤出口)から徒歩約15分**

**●JR大阪環状線・大和路線**

**「今宮」駅から徒歩約9分**

**所在地** / 〒557-0024 大阪市西成区出城2丁目5番20号  
**設置主体** / 大阪市  
**運営主体** / (指定管理者)  
 社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会  
**電話** / ☎06-4392-8200(代表)  
**ファックス** / ☎06-4392-8206  
**URL** / <http://www.wel-osaka.jp/>

**人権啓発キャッチコピー**

(テーマ)就職差別撤廃月刊  
**恋の、仕事の、社会の、時代の、人生の大先輩**

赤嶺 輝彦さん(平成24年度「人権啓発ポスターデザイン・キャッチコピー募集」事業 人権啓発キャッチコピーの部 優秀賞)の作品です。